

平成14年度「いかわを拓く町民のつどい」

主な内容

- ・平成14年度「いかわを拓く町民のつどい」...P2~5
- ・功績をたたえて..... P6~7
- ・第39回産業祭・第31回文化祭... P8~9
- ・ふるさと井川会、救急救命最前線...P10~11
- ・町の話、くらしの情報.....P12~15
- ・お知らせ、みんなの広場.....P16~19



せんせい、ボク虫歯ないモン
～ 3歳児健診～

広報
いかわ
552

人口などの動き

(11月1日現在)

- ・人口 男 2,897人 (-22)
 - 女 3,203人 (-3)
 - 計 6,100人 (-25)
 - ・世帯数 1,743戸 (+16)
- ()内は前年同月との比較

慶 弔 だより

(10/21~11/8)

お誕生おめでとう

- 佐藤 大晃 (晃心・聡子・長男) 小泉
- 石井 智也 (康彦・敦子・長男) 八幡
- 藤田 葵那 (将五・麻由美・長女) 田中
- 幡宮 圭人 (明・香織・長男) 八幡

ご結婚おめでとう(転入)

- 齊藤 騰 海老沢 (新本籍) (新住所)
- 能登谷友子 秋田市 海老沢 (海老沢)

- 伊藤 和磨 上村 上村(上村)
- 鎌田 幸恵 秋田市

お悔やみ申し上げます。

- 児 玉 重 男 (69歳・本人) 海老沢
- 半 田 タカ子 (74歳・俊弘) 羽立
- 安 田 周 作 (66歳・本人) 施田
- 小 林 連太郎 (79歳・本人) 施田
- 鎌 田 治郎 (90歳・本人) 今戸
- 小 林 久 (53歳・喜雄) 館岡
- 伊 藤 マル (82歳・仁法) 中下村

善 意

地域福祉基金へ

- ・施田町内の小林聡さんより、亡父連太郎さんの香典返しとして3万円。
 - ・施田町内の安田清光さんより亡父周作さんの香典返しとして3万円。
 - ・小今戸町内の渡辺貞雄さんより、亡母チャヤさんの香典返しとして3万円。
 - ・小泉町内の渡部フミ子さんより亡夫昭男さんの香典返しとして3万円。
 - ・中下村町内の伊藤仁法さんより亡母マルさんの香典返しとして2万円。
 - ・井川町商工会女性部よりチャリティバザー売上金 5,520円。
 - ・井川中学校生徒会より井中祭収益金 1,896円。
 - さくら苑へ
 - ・大瀧村の栢森ヨミさんよりお米20kg
 - ・井川小学校よりお米10kg
 - 桐ヶ丘療護園へ
 - ・井川小学校よりお米10kg
- ご寄付いただきました。
“ありがとうございました”

施設の利用状況(10月)

()内は累計

環境改善センター.....	1,391人 (8,057人)
歴史民俗資料館.....	107人 (432人)
町民体育館.....	1,924人 (13,075人)
町民武道館.....	958人 (5,689人)
町営野球場.....	305人 (3,816人)
ふれあいスポーツ館.....	188人 (844人)
定住促進センター.....	2,211人 (14,834人)
日本国花苑施設.....	1,731人 (11,906人)
老人福祉センター.....	1,746人 (11,234人)
ゴミ処理量.....	88t (639t)
し尿処理量.....	111㎥ (843㎥)

印刷/秋田協同印刷株式会社



この日は「じゃがいものすいとん」を作りました。
すいとんって何～に?

食生活改善推進協議会

平成10年食生活改善推進協議会全国大会参加以来、40時間の養成講座を終了したヘルスマイトは、食生活の改善をすすめるため各地域で活動しています。

昨年からは始まった「小学校ふれあい学習」へは、ヘルスマイトが交代で年10回の学習の指導にあたっています。クッキングクラブ19名の児童たちは、4・5人が一グループとなり、それぞれグループをへルスマイトが担当するという形で学習を進めています。食生活改善推進協議会では、子供たちに郷土料理を知ってもらうとともに、栄養面も考慮に入れ、おいしく食べられる料理にしよつと、食材には地産産物のものを多く取り入れるなど準備に心を砕いています。学習時間になると、男の子も女の子もさ

食の大切さ学習中

「食の豊かさ」をどうとらえるかが問題となっている昨今、子どもの時から食習慣への関心をもち、その大切さを知ってほしいと思っています。

先日、クッキングクラブの児童から調理実習の絵を添えたお礼の手紙が届きました。子供たちとの交流は、活動の原動力となっており、私たちに奮起を促してくれました。私たちは、こうした活動や食育を通して、児童たちがたくましく育ってほしいと願っています。

(渡部 慶子)

写真は撮ったり、お話を伺いしたりするための方々とお会いする機会も多く、また、各施設を訪ねることも多い。先日、中学校に行った。目的だけ果たせばいいような顔して、まずは職員室にあいさつをと思った。と、廊下でそれ違う生徒たちと、「こたには。」と苦言を吐く。「と、次々にあいさつを受けた。『フーン。』と照れ笑いごまかしたあと、「おじゃまします。」と応えた。生徒たちにあいさつなんて念頭になかった自分が恥ずかしくなった。でも、とても清々しい気持ちになった。

* * *

今年冬の到来が早く、長雨がそのままに変わってしまいました。紅葉を楽しむ間もなく、真っ赤な木々の上には雪がどろり。アリア、まただんよりのか、と思っていたら、あるTV番組の中で、秋田の女性の肌がきめ細かく美しいのは、日照時間が全国一少なく、冬は雪で程良い湿度を保つためだとか。秋田だつていいところあるじゃない。今年の冬は、みんなのお肌のために我慢すること



齋藤正寧町長

合併は夢を叶えるためのもの

私たちの生活は衣食住を常に考えていて、それらをより良くするために各団体が出来ている、といえる。町村合併実施はそういうものを怪しくさせていく。本来の合併の姿は、夢ややりたい希望があつて進めていくものだと思うが、今は国や自治体に金が無いから合併を推し進めようとしている。国の試算では一〇〇〇〇以上の自治体にしたいうつだが、現状では一九〇〇〇くらいになりそうだ。

では我が井川町では合併に対してどうかというところ、賛成20%、反対35%、わからない40%となっていて、例えば、反対の主な地域旧上井河中心地区は、今となっては公共の施設など、なにもなくなっている。また新屋敷地域においては駅まで来て、これ以上は良くならないだろう。という見方は当然だろう。

自分たちの町を大事にしたいから、貧しくても合併しないか、合併を選択するかは難しい問題だ。私見としては、合併するとすれば湖東五町が妥当と考える。でも人口が急激に減っていくので効果の期待が薄い。どうやって地域が生きていったらよいか、一人一人考えてほしい。



自ら考え

行動する

まちづくり

平成14年度 いかわを拓く 町民のつどい

魅力ある

地域づくりは

私たちの手で

今、国の方針として市町村合併が政策的に進められようとしています。井川町の町づくりの将来像を考えると、合併の是非に関わらず、住民自ら考え行動するまちづくり、人々が助け合う「コミュニティづくり」に取り組むことが大切になってきます。十一月二十四日「いかわを拓く町民のつどい」では、それらをベースに、それぞれの町づくりへの取り組み、思いを語って、まちづくりを考えました。

当日は、雨続きの今年の晩秋にあつては、もったいないくらいに晴天に恵まれました。参加者も二〇名を数え、始めに行われた齋藤正寧町長の「わが町のまちづくり」と題した講話に耳を傾けていました。



表彰 社会福祉協議会長表彰

- 社会福祉協議会役員功労
- 工藤 貞夫(大麦)
- 永年にわたり、社会福祉協議会監事として、社会福祉の増進に貢献しました。

井川町スポーツ賞

- 栄光賞
- 金 遠藤 良(今戸)
- 銀 第56回国民体育大会レスリング個人2位
- 工藤 秀樹(横岡)
- 第47回インターハイ出場(柔道)
- 東北高校柔道選手権大会男子個人第3位
- 銅 伊藤 淳(横岡)
- 第56回国民体育大会出場(相撲)
- 伊藤 功(赤沢)
- 第56回国民体育大会出場(相撲)
- 伊藤麻美子(中下村)
- 全日本クラブバスケットボール選手権大会出場
- 森田 陽子(小今戸)
- 全日本クラブバスケットボール選手権大会出場
- 手権大会出場
- 伊藤由来子(街道)
- 第47回インターハイ出場 全県高校総体団体優勝(フェンシング)
- 半田 恭子(大野地)
- 第47回インターハイ出場 全県高校総体団体優勝(柔道)



澤石傳吉さん
(さくら)

花作りで深まる「コミュニケーション」

さくら町内に住まいを求めた平成十一年、人は何を求め、何を考え、何をやるうとしているのか、どう生きるべきかを考えたとき、希望と勇気を最大に発揮しながら地域にとけ込んでいきたい、新鮮な新しい土地で何かを切り開いていきたい、私は何をすべきか、と思った。

そこで思い立ったのが老人クラブ設立だった。顔見知りの数人と話し合い、町内会長に相談そして、対象者のいる家庭を一軒一軒訪問し説明した。中にはいろいろな考え方をする人もいるが、新しい町内ではじめての方々と語り合うことに幸福を感じた。今までは家庭生活安定のためにがんばってきたが、これからは社会のためにがんばっていきたく、明るいまちづくりは、さくら老人クラブから始めていこうと話合った。

井川町老人クラブ連合会に加

入し、花の種が届けられると、早速、分館に植えることにしたが、新しい土地なので町の支援をお願いし、うまく育てるために先進地視察もした。こうして育てていくうち、秋田県花いっぱい運動の会で、努力賞、優秀賞と受賞していった。そうしたことも励みになって、花作りに益々一生懸命になり、コミュニケーションも深まっていったのである。町内会も一層理解を示し、花作りだけでなく、草取りや庭木を植えて公園の整備をしたりしていった。そして先日秋田県花だんコンクールで、秋田県新聞社賞特別優秀賞をいただいた。

新しい土地では、住む人も、家庭のあり方も、考え方も違う人が集まっているが、明るい町づくりのためには、まず人と人とのふれあいから始めたい。命のある限り楽しく語り、信頼関係を深め住み良い町づくりをしていきたい。

今、電車通勤の方々が必要なように、明日へのエネルギーを持てるように、町内全域にサツキの植栽を試みているところである。

一人の百歩よりみんなの一步

横岡町内は平成四年に誕生した比較的新しい町内である。町内の立地位置は、他の町内から完全分離しているわけではなく、隣のうちが他町内であったり、横岡町内の中に別の町内会員がいたり入り組んでいるが、平成七年町内会として「明るく、美しい地域づくり」宣言をした。活動の基本的な考え方は、ボランティアの心やいたわりの心を大切に「やれる人が、やれる時に、やれることを」を、モットーに進めている。文化的事業としては、男の正月、女の正月などがあり、研修会や総会に女性の参加率が高く、積極的な意見が出されることも町内の大きな特色である。

横岡町内が奉仕活動をベースに環境美化活動を強く進めるようになったのは、

町から生活排水浄化モデル地区に指定、

生活排水浄化対策推進委員会の設置、主に台所排水の浄化の「クリーン浄



小林純一さん
(横 岡)

「化沈殿槽」の設置があげられる。

まず意識改革をするために、「美しい環境づくり標語」を募集し、町内三方所に看板を設置。実践活動として、清掃と花壇づくりを四月から十一月までの第三日曜日、朝実施。勉強会としては、環境美化先進地を視察。これは町内のコミュニケーションもかねて行われました。

当初は、環境美化・保全を考える学習会として、先進地を視察したが、結果として

水の浄化(羽後町の名水視察)

ふれあいの場(西木村・八幡平・太田町の花壇視察)

分別収集とリサイクル(鷹巣町視察)

流す水を、燃やすと空気を汚す(河辺町・飯島・御所野視察)

ごみの減量とE.M.ごみの処理の見直し(十文字町視察)

以上のように、現場を見て知識を得ることができた。そのことこそ環境美化の第一歩であると思ふ。

「一人の百歩より、町内みんなですず一步」を目標に進めてきたが、実感としては「思い通りにはならないが、やったとおりにはなる」ということだ。これまでの町の支援に感謝している。



鎌田昌子さん
(今 戸)

小さな活動の積み重ね

井川町婦人会が発足して三年目を迎えます。合併当初、支部未端までの活動が衰退するのではないかと、との懸念もありましたが、今では各事業の参加者も多く、今年も若年層も加わり、二八支部六六二人の会員で活動するまでになりました。

婦人会は、地域とのふれあいを大切に、健康で住み良いまちづくりを目指し、生活に密着した身近な問題と取り組んできました。

前年度までは、生活の合理化を考え、簡素化について話し合ってきました。それぞれ地域の実情にあった方法で実践しています。

今年も、年々深刻化するごみ問題にテーマをおき活動しています。視察学習を進めていくうち、ごみ全体の中で生ごみの占める割合が大きいこと、リサイクルすることでごみも大切な資源であること、などがわかってきました。環境汚染は生命にもつなげる問題

であることから、生活のスリム化を女性の視点で見直していこうとしています。

また健康を維持する源として食生活の大切さがあげられます。私たちは、食についての学習を続け、ヘルスマイトとして地域の人の食生活改善をすすめています。今では定期健診や産業文化祭など町の行事に協賛した大人の食生活だけでなく、小学校にもその枠を広げ、ふれあい学習として年一回、子供たちとふれあいながら食の大切さ、地場産のもの、郷土料理の作り方などを指導しています。

もう一つのふれあいが高齢者との交流です。一人暮らしの老人や老夫婦だけの生活者が増えていく昨今、会員が持ち寄った手料理などで楽しい時間を過ごしていただいております。

私たち婦人会員は日赤奉仕団員でもあり、災害時に備えて救護や介護の仕事などボランティアとして地域に役立つよう講習を受け、学習しています。

小さな活動の積み重ねですが、次代を担う子供たちの育成と地域の皆さんが住み良さを感じる町を目指し、年ごとのテーマに沿って活動を継続しながら定着させるため、がんばっていききたいと思っています。



コーディネーターの
遠藤さん

町長の講話のあと、「魅力ある地域づくりは わたしたちの手で」というテーマでシンポジウムが行われました。

コーディネーターは秋田県総合公社参与の遠藤信郎さん(今戸)、シンポジストはさくら老人クラブ会長の澤石傳吉さん(さくら)、横岡町内会長の小林純一さん(横岡)、井川町婦人会副会長の鎌田昌子さん(今戸)の三名でした。

澤石さんは、新しくできた町内に移り住んで、老人クラブを立ち上げてコミュニケーションを深め、花作りで新町内の活性化を図っている。

小林さんは、比較的新しい町内会長として一人ではなく、みんなと同じ課題、住み良い地域づくりを目指して前進していることとしたこと。

鎌田さんは、合併して程ない団体ではあるが、活動は小さいながらも着実に会員に浸透し、継続していること。などが報告



参加者について質問する
廃油について質問する参加者



寸劇の中でごみの分別を説明してくれました。

されました。会場からは、廃油について質疑応答が行われ、遠藤コーディネーターは、「魅力ある地域に住んでみて、自分が何もしなかつたら、魅力あるところだと感じるだろうか。ホッとする場所、住み心地のいい場所からは自ら実践してはじめて、魅力あるところになると思ふ。」と結ばれました。

午後からの講演は、岩手県岩泉町でドライフラワー産業を興し、生き生きとした女性の輪を広げながら、地域づくりに貢献度の高い坂本ゆりさんの「愛と夢と一粒のたね」と題した講演が行われました。

そのあと、井川町婦人団体連絡協議会の皆さんによる寸劇「井川町の「ごみ」の出し方」が上演され、ユニークな演技が笑いを誘っていました。参加者からは、「小さなキャップや油ビンをどうすればいいのかよくわかった。」と好評でした。



町長日記抄

齋藤 正 寧

町村合併をするのか、しないのかの選択がいよいよ迫られてきた。合併町村には特例債という優遇策を講ずる一方で、その財源は未合併町村の交付税を減らしてなどという乱暴な言辞も横行している。現実には規模が小さいがため手厚かつた段階補正が見直され、五万人以下の町村の地方交付税は減ることが決まっている。

更には議論の過程とは言え、人口規模で小さな町村の仕事と責任を縮小し、県や他自治体に代行させる案や基礎的な自治体ではないとする案など、政権党や地方制度調査会関係

などを考慮すれば当然の範囲だと思ふ。だが、合併するに当たってはどの町村であれ隣接する町村を考へるのは当然のこと。例えば昭和町であれば秋田市や天王町も有力な選択肢になるだろうし、八郎潟町や五城目町は実現性はともかく郡境を越えた合併も考え得るだろう。

こうした選択をした場合、例えば、住民生活に最も身近な消防組織は大混乱に陥るかも知れない。仮に天王町と昭和町が合併したとすれば湖東一部組合、男鹿部の組合のどちらに加入するのだろうか。

者から提示されるに至っていない。こんな調子では否応なしに合併に進まざるを得ない。こうした地方財政制度の将来像を明確にしないままの合併推進論は自己決定、自己責任という地方分権の理念をな

いがしるにすぎないものだろう。

本町の場合、アンケートや町政座談会の結果は慎重論が大勢だと受け取ってきた。仮に合併するにしても最大で湖東五町で、秋田市や男鹿市との合併は反対というのが町民の意向だったと思っている。地域の一体感や歴史や文化の共通性、行政サービスの利便

同一目的の行政組合には一カ所より加入は不可能だ。加入脱退によつて効率性の悪化や施設設備の再編等も必要になるだろう。しかも、加入脱退は構成町村の一致した議決が前提だ。合併には具体的に話めれば、こうした悩ましい問題がつきまとう。

だが、このまま傍観するわけには行かないだろう。理不尽なことは多々あるにしても、現実の状況を考えれば、合併にハэндルをきらざるを得ないのではないか。議論をして欲しい。

功績をたたえて！

勲六等単光旭日章

鷺谷 繁さん



秋の叙勲で鷺谷繁さん（七十歳・海老沢）が勲六等単光旭日章を受章されました。
消防功労に輝いた鷺谷さんは、昭和三十九年に井川村消防団に入団以来三十七年にわたり、消防力の強化、消防技術の向上に努め、火災発生に際しては、率先垂範に消火の指導にあたり、適切な行動力と一貫した消防精神をもって職務を遂行されました。特に平成六年からは、そうした卓越した消防技術と積極的な消防活動が評価され、井川町消防団長に就任、十一年からは秋田県消防協会男鹿南秋支部長として、地域消防団発展のために力を尽くされました。
又、予防活動の充実と初期消火のための訓練に心血を注ぎ、部下団員の指導育成にも献身的にあたられ、地域の安全のために尽力されました。

厚生労働大臣表彰

民生委員功労



湊 ヒサさん
(横 岡)

湊ヒサさんは、民生委員児童委員功労で厚生労働大臣より表彰されました。
湊さんは昭和五十五年民生委員児童委員に就任以来、二十一年にわたり、行政と地域のパイプ役として住民を見守り、支援するために尽力されました。社会福祉の重要性を深く認識したその活動は、地域住民の信頼を得、生活の安心につながっています。その功績が認められました。

秋田中央保健所長表彰

環境保全事業功労



湊 勝さん
(横 岡)

秋田県警察本部長 表彰 交通指導隊連合会長

交通指導隊員功労

ついでに、井川さくら駅周辺国道七号線、二八五号線沿線地域の清掃活動を平成二年から実施して、地域リーダーとしての指導力が高く、町内に設置されている花壇に花苗の植栽から通年管理するなど地域づくりや環境美化に貢献されました。



澤石傳吉さん
(さくら)

澤石傳吉さんは、さくら延寿会老人クラブの初代会長として、地域活動を展開しながら清掃活動・環境美化活動を積極的に行って

五城目地区防犯協会 連合会長表彰

防犯功労



渡部勝美さん
(小 泉)

渡部勝美さんは、五城目地区防犯協会連合会長・五城目警察署長より表彰されました。渡部さんは、積極的に町民への防犯指導を行い、防犯意識の高揚を図ると共に地域の安全のために力を注いでこられました。

湊勝さんは、秋田県警察本部長・秋田県交通指導隊連合会長より表彰されました。
湊さんは、平成二年より町交通指導隊員として、町行事での交通指導や交通整理、幼児や児童・高齢者などへの交通安全指導を行い、交通秩序の保持及び交通事故防止に努めてきました。その功績が認められての表彰です。

花



公民館前庭～井川学園

全県花だんコンクール

花の美しさは、人々の心に潤いを与え、花や木を育て慈しむ心を通じて「思いやりの心」を育てます。こうした花と緑に囲まれた快適な生活環境を一層普及させるため、県では花壇コンクールを行っています。入賞した町の皆さんです。

- 特別優秀賞（秋田魁新報社賞） さくら延寿会老人クラブ
- （全国花いっぱいコンクール） 全国審査会優良賞受賞
- 優良賞 井川学園
- 家庭の部
- 優良賞 丁藤理知子（さくら）

税

秋田北地区納税貯蓄組合連合会が行った「中学生の税についての作文」コンクールでは、二五二点の応募の中から井川中学生一名の方が入賞されました。入賞者は次の通りです。

秋田県納税貯蓄組合

連合会長賞

井川中学校三年

森田美紗さん



「最高の思い出が
つくれたのも...」

秋田北地区納税貯蓄組合

連合会長賞

井川中学校三年

湊 くるみさん



「税と共に」

「税の作文」 入賞作品

最高の思い出が つくれたのも...

森田 美紗

「いよいよ修学旅行だね」私たちは、この日がやってくるのをとても楽しみにしていました。いろいろな計画を立て、グループで何度も話し合ったり、早く集合することや並び方の練習だつてやりました。

出発する当日は、みんな胸をふくらませ、大きな荷物と一緒に修学旅行先である東京へと向かいました。電車の中では、みんなとお喋りを楽しんだり、朝早起きしたせいか、寝ている人もいました。約六時間かかってやっと東京に着きました。初日は横浜の中華街へ行って自主研修を楽しみました。それから、二日目、三日目、最終日にもいろいろな場所へ行き、今まで以上の思い出をつくることができました。三泊四日もあったはずなのに、と、思いながら私たちの修学旅行はあっという間に終わりました。

家に帰ってみると、私が旅行先から送った家族へのおみやげが、すでに届いていました。そ

こで母に、「どのくらいお金を遣ってきたの?」と言われ、私はとっさに「どのくらいかは分からないけれど、かなり余った」と言つと、「いっぱい遣つてくれれば良かったじゃない!!」と言われました。私は、てっきり使い過ぎると、怒られると思つていたので、少しでも残そうと思つていたので、中学生の修学旅行のために、きちんと町からもお金を頂いているんだよ、母が言ったその言葉に、私はビックリしました。確か、私の弟が所属する部活で全国大会に出場するときも、町からたくさんのお金を頂きました。それに、大会の数日前には、診療所で健康診断を受けさせてもらったそうです。私はそんな中で、改めて町の人たちに感謝をしようと思いました。私が一番心に残った修学旅行で、最高の思い出がくれたのも、町の人たちのおかげだと思います。

私はこの作文を書くことで、税金について改めて考え直すことができました。税は私たちにとって、かけがえないものだから、みんなで

ということも分かりました。この税が身近にあることで、私にとっても、またいろいろなたちにとっても、たくさんものを得ることができず、もしこの税がなかったら、今頃はどいうことになっていたのでしょうか。私たちはこの世に生まれてこれなかったかもしれせん。

本当に、改めて税は大切だと実感することができました。物を買ったりするだけでなく、時には人々の命を助けたり、時には子供たちの夢を叶えることだつてできると思います。
税について詳しく知ることより、それについて知るきっかけに気付いた方がいいのではないのでしょうか。また、私がこれまでに十四年間生きてる中で、たくさんの人々に支えられたと思つています。これらを改めて見つめ直してみようかと思つています。

みんなで拍手!



第39回産業祭 第31回文化祭

出品総数 946点

今年の産業祭・文化祭は役場庁舎及び農村環境改善センター・健康センターを会場に行われました。

産業祭部門は役場大会議室に米や野菜・果物、工夫を凝らした加工食品など一〇〇点が展示されました。出品数は昨年を下回るものの、今年の気象災害に左右されない優品揃いの評価を受けました。また会場では無人ヘリコプターシミュレーションコーナーなどが設けられ、これからの農業に思いを馳せていました。

文化祭展示部門は、農村環境改善センターを主会場に役場二階にも会場を広げ、草木染めやパッチワークなどの手芸三〇〇点をはじめ、絵画・生け花など五〇〇点あまりが展示されました。また発表部門では、三日「歌と踊りの集い」が開かれ、出場した二五〇名が熱演。大勢の観客は盛んに拍手をおくっていました。

健康センターを会場に行われた福祉展・健康展は、老人福祉展に二七一点、身体障害福祉展に五三三点の作品が寄せられました。健康展では、食生活改善推進協議会による試食コーナーや「今日から実行、良い歯と歯肉の健康づく

り」失ってわかる歯の大切さ」をテーマに指導が行われました。

第一回文化功労者に 伊藤孝之助氏

また、二日午後から行われた褒賞授与式及び表彰式では、産業功労者とともに文化芸術の面で功績のあった方に授与される文化功労者表彰も行われ、第一回目として、横岡町内伊藤孝之助氏が表彰されました。

そのあと、記念講演会は「わが家の生ごみが資源となる日(肥)トーク」と題して、秋田県農林水産部循環型農業システム推進チームリーダー 佐藤良悦氏が、環境にやさしい農業・堆肥の製造や利用の問題について講演し、参加された皆さんも熱心に聴講しておりました。



熱い口調で語る佐藤講師

産業祭表彰者

- 秋田県知事賞
草階正一(八幡・ホウレン草)
藤田子工(新屋敷・キュウリの菊巻き(味噌漬))
秋田県農協同組合中央会会長賞
鎌田ヒナ子(小今戸・水稲)
伊藤和弘(大野地・りんご)
農業改良普及センター所長賞
伊藤勇一(宇治木・セリ)
伊藤正子(大倉・りんご入りそばケーキ)
産業祭会長優秀賞
渡部正一(小泉・水稲)
鎌田研造(小今戸・ネギ)
湊 松男(坂本・りんご)
渡辺京子(街道・かす漬け・梅酢漬)



産業祭出品物審査

みんなの努力がキラリ

産業・文化の振興に尽力

平成十四年度産業功労者に、多年にわたり農業の振興に尽くされた五人が決まり、今年から表彰が行われた文化功労者には一名の方が決まりました。十一月二日、産業文化祭褒賞授与式で表彰されました。

文化功労者



伊藤 明さん (仲台)

農業協同組合の役員をはじめ、農業団体のリーダーとして活躍され、農協合併にあたっては豊富な経験と卓越した指導力を発揮し農業の構造改革に尽力されました。



伊藤 貞夫さん (大麦)

永年にわたり、農畜産の生産振興にかかわると共に、農業協同組合の役員として豊富な経験と卓越した識見をもって活躍され、町農業の発展に寄与されました。



伊藤 隆志さん (今戸)

美術の分野において輝かしい成績を上げられ、町民に希望と活力を与えると共に、永年にわたり町の芸術文化の振興に大きく尽力されました。



伊藤 明さん (仲台)

土地改良区の役員として、ため池整備や排水施設の整備など、水田農業の基盤確立に努めると共に、農業委員として農業振興に貢献されました。



伊藤 力さん (赤沢)

永年にわたり、生産組合長会会長として組織の育成強化と農家指導に努めると共に、農業関係団体の役員として農業の発展に貢献されました。



伊藤 隆志さん (今戸)

農業協同組合の役員をはじめ、農業団体のリーダーとして活躍され、農協合併にあたっては豊富な経験と卓越した識見を持って農業の構造改革に尽力されました。

老人福祉展入賞者

- 特別賞
三浦美恵子(さくら・刺し子)
草階タカ(館岡・編み物)
奨励賞
土橋鈴子(街道・パッチワーク)
伊藤八ギエ(上村・刺し子)



「今年の試食おいしいネ。」
～食生活改善推進協議会コーナー～

身体障害者福祉展入賞者

- 特別賞
佐々木秀雄(網木沢・自由詩)
相馬利美子(網木沢・えんぴつ絵)
奨励賞
加藤和子(坂本・押し花)
門間フチエ(網木沢・水墨画)
努力賞
工藤トキ子(網木沢・陶芸)
乳井 光(街道・切り絵)

- け
渡部友晴(小泉・林大豆)
同優良賞
渡部津代志(小泉・水稲)
鈴木ヒサ(保野子・大根)
安田巳一郎(寺沢・ブロッコリー)
鷲谷鈴子(海老沢・クルミ入りのゴマもち)
同努力賞
半田則子(羽立・キャベツ)
館岡子工(海老沢・ニガウリあねこ漬 その他)
伊藤 豊(街道・ジャンボカボチャ)
同奨励賞
松岡リノ(大台・にんじん)
山崎タエ子(仲台・まめまめコロッコ)

- 伊藤高正(大倉・わらじ芸品)
渡部力ネヨ(新間・パッチワーク)
奨励賞
澤石傳吉(さくら・わらじ芸品)
鎌田チルノ(今戸・農産加工品)
鈴木ツルエ(保野子・パッチワーク)
小武海トキエ(新屋敷・刺し子)
藤原ナツ(藤田・着物)
藤田子ヨエ(新屋敷・手編み)

ふるさと

井川会

新会長に山崎さん

桑名前会長は名誉会長に

十一月十六日、第十四回首都圏ふるさと井川会が、日本青年館で開かれました。

総会では、十四年間会長を務めた桑名忠夫さんが勇退し、井内出身の山崎光夫さんが新会長に選任され、桑名前会長は名誉会長になりました。山崎さんは、長い間会長を務められた桑名前会長に敬意を表し、「不況の時こそみんなで情報交換をし、アイデアを出し合いたい。町村合併が議論を呼んでいるが、ふるさと会の合併は必要なく、いつまでもよい井川であってほしい。」と述べられました。

当日は、町出身者とその家族一三〇名が参加。町の動きを紹介するスライドを見ては、ふるさとに思いを馳せ、またぎりたんぼ鍋や地酒を堪能。盆太鼓の音に、自然に体が踊り出すといった、ふるさと井川一色の空気に包まれました。



盆踊りを楽しむ参加者



新会長の山崎光夫さん



年代は違ってもふるさとの話は尽きません

首都圏ふるさと井川会 役員の方々

- 会長 山崎 光夫
井内(埼玉県さいたま市)
- 副会長 佐々木千鶴子
井内(東京都町田市)
- 八柳 安郎
田中(神奈川県横浜市)
- 鈴木 陸雄
小泉(東京都杉並区)
- 松田 重雄
新屋敷(神奈川県相模原市)
- 児玉 順弘
井内(静岡県伊東市)
- 伊藤スエ子
今戸(東京都江戸川区)
- 幹事長 鷺谷 正
海老沢(埼玉県幸手市)
- 監事 桑名 博
今戸(神奈川県横浜市)
- 小林 妍幸
施田(神奈川県川崎市)

お便り紹介

ふるさと井川会が終わってすぐ、お礼の手紙が届きました。次にご紹介します。

ふるさと踊る

三浦 衛

「ふるさと井川会」が日本青年館地下ホールにて、にぎやかに開催。一三〇名ほどが集まった。これまでも再三お誘いを受けていたが、忙しにかまけてとご無沙汰していた。今夏ふるさとで行なわれた同級会がこのほか楽しく、離れていても町の方々と公私ともどもお世話になっていることを再確認。磁石に引き寄せられるように、この会にもはじめて参加させていただいた。

中 略

特産のキリタンボを食し、最後は盆踊り。四〇名はその輪に加わった。阿波踊りとはまた違う、ゆったりしなやかな手さばき腰さばきを見ているうちに田植えの姿が重なった。踊り手のみなさん、居合わせたお客さんに見てもらっていつよりも踊ることでふるさとの野山を体感している風情であった。(仲台出身・横浜市在住)

こうしょうぼう 救急救命 最前線

湖東地区消防署救急救命士の皆さんからいただいたメッセージの中から、今話題になっているインフォームド・コンセントと日常の家族愛に対するメッセージをご紹介します。

「いつもと違う」

読者の皆さんは今この広報を読んでいて、いつもと変わらぬ日常を過ごしていることと思います。傍らにはどなたかいらっしやいますか？その方の様子はどうですか？いつもと変わりありませんか？

――九番を通じて救急車の要請があった場合、当然のことながらその方は何かしらいつもと様子が違います。元気がなかったり手足が動かなくなったり……。「がいつもとどのように違う」という情報は、その奥に潜んでいる病気を判断するのにとても大切です。たとえば、「それつが回らない」と救急隊が感じても、普段からそうである人とそうでもない人では意味が違ってきます。ほかにも、隣で寝ていた奥さんが「うちの夫は、普段は眠っててもこんなにいびき

齊藤 英範

患者の理解に基づく同意」です。

医師と患者がお互いに診察・手術内容などについて納得したうえで治療を進めていくことです。医師は治療法や薬の内容について、患者に十分な説明をし、患者の同意を得たうえで治療を実行するという考え方は、インフォームド・コンセント

「インフォームド・コンセント」
インフォームド・コンセントという言葉が医療の現場で使われる機会が増えています。日本語に訳すと「説明と同意」ですが、具体的には「医師の説明と

よう。

人は誰でも病気になるります。インフォームド・コンセントの考え方は、そのとき患者は自分の体の中でどのような事が起きているのか知る権利があります。医師はそれを説明する必要があります。それにより患者は自分で医師と相談して自分はどうしたいと意志を決め、それに沿って医療を行います。患者と医師は十分な意志の疎通を行い、自分で考える患者になる必要があります。

しかし、同時に解決を要する問題も存在します。癌の告知もその一つです。治療が十分期待出来る胃の早期癌では問題なくても、治療効果ほとんど期待できない進行癌の場合、患者は自分の病気を知る権利と同時に知らずにいる権利も持っていると考えられます。しかし、それらの問題を含みながらも時代は確実にインフォームド・コンセントを得ながら診療を行っていく時代になりつつあります。

インフォームド・コンセントとは患者と治療のゴールを共有し、ゴールを達成する為に共同で治療プランを作成するプロセスです。インフォームド・コンセントの第一歩は、良好なコミュニケーションから始まります。

菅原 香樹

藤原さん(大麦出身)より

中学校野球部に 野球用品贈られる

井川中学校野球部に、20万円相当分の野球用品が贈られました。贈ってくださったのは、大麦出身藤原宏子さん(旧姓：工藤 千葉県在住)。藤原さんは全日本大学野球連盟(東京都)の事務局を務める大の野球ファン。井川球児にツールを送りました。

贈られた野球用品



井川中学校野球部員練習に力が入ります。

11/12

これからもお幸せに

～金婚をお祝いする会～

平成14年度井川町金婚をお祝いする会が11月12日(火)農村環境改善センターで行われました。町では、結婚して50年以上、ご夫婦揃って70歳以上の方を対象にお祝いの会を開いています。今年金婚を迎えられたご夫婦は12組。5組10人の方が参加されました。

当日は、式典の前に記念撮影が行われ、緊張した面もちでカメラに収まっていましたが、式典、会食と進むにつれて和やかな雰囲気になっていきました。これからも仲良く、いつまでもお元気で!



笑顔で記念写真。みなさんお若いすネ。



駅に入ってきました。

汽笛をあげて出発です。

1つ大きく蒸気をはき出します。

ぐんぐん迫ってきました。

11/23・24

S L 走る

～駅開業100年記念～

秋田駅など開業100年を記念してS Lが運行されました。井川さくら駅にも停車されるとあって、みんなの関心呼びました。井川さくら駅の停車時間は上下とも1分ではありましたが、「歓迎S L あきた路号」の横断幕が掲げられ、沿線には大勢の人が詰めかけました。年輩の方にとっては、懐かしい蒸気機関車でも若い人にとっては、「発車するときの汽笛や蒸気が噴き出したときは、感激した。」「ヘーッ! 写真や絵の世界であったのが実際走るんだ。」等々。親子連れの家族も「親も子も蒸気機関車を見るのははじめてです。」「シュッシュッって入ったよ。」とお子さん。

思い思いに写真を撮ったり、ビデオを回したりと楽しんでいました。



秋の夕陽に雄々しい姿が郷愁をよびます。



10/23

不法投棄は止めて!!

～不法投棄廃棄物クリーンアップ～

(社)秋田県産業廃棄物協会では、「廃棄物不法投棄追放」をスローガンに環境保全、生活環境づくりを推進しています。今年井川地内のクリーンアップを実施することになり、10月23日役場前で出発式が行われました。町の菅生助役から激励を受けた後、五秋林道に入り、不法投棄の撤去を行いました。

各地区で不法投棄が問題になっていますが、井川町でもこの日、4トトラックで3台、2トトラックで約8台もの廃棄物が見つかり、回収されました。



11/15

元気に遊んでね

井川町老人クラブ連合会では、文化祭老人福祉展に出品した手作りの輪投げを、子どもセンターに遊具として役立ててほしい、と寄贈しました。

これは、新屋敷老人クラブの皆さんがつくったもので、ペットボトルに砂を入れて軸にし、ホースをテープで丁寧に撒いて輪にしたもので、78個の輪が出来ました。子供たちは大いに喜んで、輪投げ遊びに興じていました。



11/15

私たちの成長見守ってね

～こどもセンター七五三参り～

子どもセンターでは、七五三のお宮参りを11月15日、小竹花神社で行いました。今年は冬の到来が早く、積もった雪を踏みしめて各チームごと、お参りに行きました。この日も雨混じりの雪が降っていて、重さに耐えきれなくなった松の枝が雪を払うと、小鳥と一緒に子供たちもキャーッ。「神様、こんなに大きくなりました。良い子になれますよう見守って下さい。」



11/10

第4回全日本空手道連盟鋼柔会東北大会

小学生男子	3位 伊藤 祐也	中学生男子
1年生 1位 湊 豪実	5年生 2位 浅野 金浩	1年生 1位 浅野 高馬
2 " 2位 伊藤 優也	6 " 3位 渡部 圭	2位 小林 匠
3 " 1位 石井 和也	小学生女子	
3位 渡辺 亮	3・4年生 1位 菅生 亜希	一般 3位 伊藤 新一
4 " 2位 中道 凌	5・6年生 3位 菅生 麻衣	3位 小玉 俊介
3位 中道 航太		

スポーツの結果です

11/9~10

秋田県中学校秋季新人柔道大会

個人の部
男子60Kg 第3位 渡部 栄浩(2年)

11/9

南秋田郡ミニバスケットボール交歓大会

準優勝 井川小学校(県大会出場)

役場の電話番号

総務課	874-4411
出納室	874-4412
情報課	874-4413
税務課	874-4414
町民課(戸籍)	874-4415
町民課	874-4416
健康課	874-4417
産業課	874-4418
農業委員会	874-4419
建設課	874-4420
水道課	874-4421
公民館(環境改善センター)	874-4422
歴史民俗資料館	874-4423
教育委員会	874-4424
議会事務局	874-4425

お知らせ

ごみ

ご存じでしたか? 新聞・雑誌の分別

新聞・雑誌でも燃やせるひもで結べば集積所に出すことができ、可燃性ごみと一緒に収集していましたが、5月からは、それぞれを分別し、紙ひもで結び、指定された日に収集することになっていきます。
新聞・雑誌は次のことをきちんと守って出すようご協力をお願いいたします。

品目
古新聞：折込み広告、新聞雑誌：古雑誌、マンガ、書籍

収集時間

午前8時まで集積所へ
指定紙ひもで結んでない場合は、収集できませんので「注意下さい」。

秋田市に依頼することになっていきますので、ごみを集積所に出す時間は、朝6時から7時までに出して下さい。

収集月
奇数月(1・3・5・7・9・11)
第1土曜日
街道・田中・羽立・小竹
花・中下村・上村・坂本・大野地・海老沢
偶数月(2・4・6・8・10・12)
第1土曜日

大台・井内・仲台・大妻・寺沢・綱木沢・施田・館岡・赤沢・八幡・大倉・保野子・宇治木・小泉・新聞・今戸・小今戸・新屋敷・さくら・横岡

指定紙ひもは、ごみ袋を扱っている町内婦人会・商店でお求め下さい。

ごみ収集についてのお知らせ

12月から、可燃ごみの処理は

免除期間は追納しましょう!

国民年金には、申請免除や法定免除などの保険料免除制度や学生納付特例制度があります。免除を受けた期間については、年金額を計算する上で保険料を納付したときの3分の1で計算されるため、年金額が減額されてしまいます。

また、学生納付特例の期間については年金を受給するために必要な資格要件としては見られますが、年金額には反映されません。
このため、この免除等を受けた期間については10年以内であれば後から保険料を納めることができます。これを追納制度と

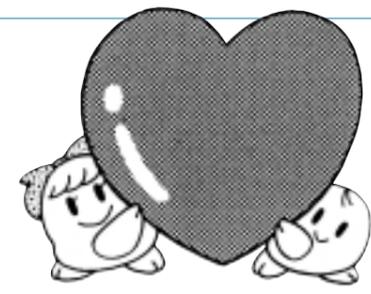
平成14年度中に追納する場合の金額

免除・学生納付特例を受けた期間の属する年度	追納額	免除・学生納付特例を受けた期間の属する年度	追納額
平成4年度	14,460円	平成8年度	14,810円
平成5年度	14,850円	平成9年度	14,600円
平成6年度	14,870円	平成10年度	14,390円
平成7年度	14,860円	平成11年度	13,830円

保険料の納め忘れをなくしましょう。それには『口座振替』がお勧めです。

免除期間等のある方は、ゆとりができたから追納することをお勧めします。

地域でささえあうあったかいお正月



歳末助け合い運動 12月1～31日



師走となりました。今年も町民みんなが少しでも明るく楽しい正月を迎えられるように、12月31日まで「歳末たすけあい運動」を行います。

歳末たすけあい募金でみなさんから寄せられます義援金は、日常生活に困っている世帯、長期療養者、在宅の要介護者や社会福祉施設に入所している人々のために使われます。

みなさまのあたたかいご協力をお願いします。

お問い合わせは、井川町共同募金会・井川町社会福祉協議会へ
☎874-2611 有線4440

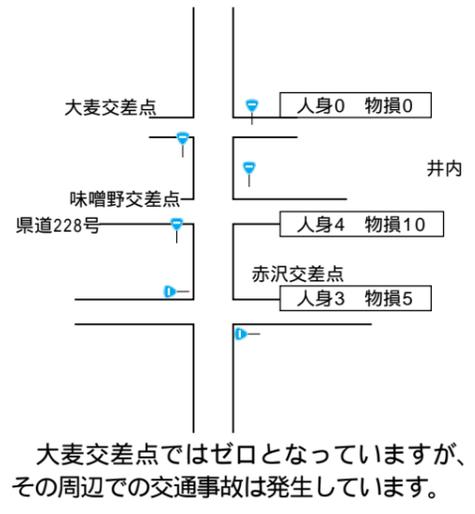
昔語りを聞く会

このたび、横手昔語りの会「とっぴんばらりのブー」の方々をお招きして、方言による郷土の伝説や昔話を聞く会を開くことになりました。なつかしい昔話が聞けるよい機会だと思いますので、みなさんのおいでをお待ちしております。

日時 平成14年12月7日(土)
午後2時～午後3時30分
会場 井川町健康センター 大ホール
題目 子ども向け「かもとりげんごろう」「ねずみのすもう」「かさじぞう」
大人向け「おりん堂」「極楽を見てきた婆様」「三つの願い」
主催 井川町三校園PTA連絡協議会
後援 井川町教育委員会 井川町公民館

交通事故多発 注意

秋田中央地区広域農道の開通によって私たちの暮らしは便利になりました。でも交差点では、交通事故が多発しています。五城目町広野交差点から昭和町下虻川交差点までの14.8km間で、人身事故18件、物損事故58件(H12.4～H14.10)が起きています。十分気をつけて通行しましょう。



12/1 時刻改正

奥羽本線(秋田方面)				奥羽本線(青森方面)			
発車時刻	種別	発車時刻	種別	発車時刻	種別	発車時刻	種別
05:22		14:31		06:06		17:02	
06:25		15:16		07:02		17:35	
07:10		15:49		08:22		18:05	
07:20		17:00		09:33		18:36	快速
07:35	快速	17:35		10:18		19:09	快速
08:10		18:24		11:38		20:37	
08:57		18:45		12:43		21:46	
09:32	快速	19:28		13:44		22:34	
10:04		21:20		14:55		23:42	
11:24				15:55		00:29	
13:24				16:33			

年末の交通安全県民総ぐるみ運動

12月11日(水)～20日(金)

高齢者の交通事故防止
夜間の外出には明るい服装と反射材を身につけよう。
高齢運転者は、体験講習や運転適正診断などを受け運動適応能力に応じた運転をしよう。
70歳以上の運転者はこのマークを積極的に着用し、ゆとりのある運転をしよう。

飲酒運転の徹底追放
飲酒運転の危険性や違法性を認識し、飲酒運転は絶対しない強い信念をもとう。

スリップ事故による交通事故防止
冬道での急発進・急ブレーキ・急ハンドルは危険です。

12月のカレンダー

- 1日(日) 子どもセンターまつり
- 3日(火) 町内会長会議(15:00~役場)
- 4日(水) ・幼、小、中学校PTA連絡協議会
・一人暮らし高齢者激励会
(12:00~ゆうゆう)
- 5日(木) 小学校学期末PTA
- 7日(土) 三校園PTA連絡協議会研修会
(健康センター)
- 10日(火) 12月定例議会
- 15日(日) 第18回井川町オープンバレーボール・第5回ソフトバレーボール大会
(町民体育館)
- 19日(木) 納税貯蓄組合長会議
- 23日(月) 赤沢山スキー場開き
- 25日(水) 幼、小、中学校2学期終業式
- 27日(金) 役場仕事納め



ぼくたちむしばなかったよ

3歳児健診でむし歯のなかった子どもたちです



菅生颯太ちゃん
(井内)



中山光瑠ちゃん
(小今戸)



伊藤凌祐ちゃん
(羽立)



伊藤実樹ちゃん
(坂本)



金子大輝ちゃん
(さくら)



湊遥輝ちゃん
(大倉)

保健だより 12月分

1歳6ヶ月児健診・すくすく学級・乳児健診

月日	健診名	対象者	内容	受付・会場
12月3日(火)	1歳6ヶ月児健診	平成13年3月・4月・5月生	身体計測、保健指導 内科診察、栄養指導	13:00~13:30 健康センター
12月17日(火)	すくすく学級	平成14年9月生	離乳について(試食) 神経芽細胞腫の説明	9:30~9:45 健康センター
	乳児健診	平成14年8月5月2月 平成13年12月生	身体計測、保健指導 内科診察、栄養指導	13:00~13:30 健康センター

・健診の時は問診票、母子健康手帳、バスタオルをお忘れなく。
・7カ月児は、離乳食指導がありますので、1時までに受付を済ませて下さい。

健康相談・母子健康手帳交付・わいわい広場

月日	事業名	内容	時間・会場
12月2日 16日 (月)	健康相談	骨密度測定、健康、栄養に関する相談等	9:00~17:00
	母子健康手帳交付	母子健康手帳・妊婦健康診査受診票交付 保健指導、栄養指導	健康センター
	わいわい広場	乳幼児と親等が対象。みんなで遊び、情報交換。相談(栄養、歯科)もできます。	9:00~17:00

ポリオ生ワクチン投与

月日	対象者	受付時間	会場
12月5日 (木)	平成13年6月1日~14年8月31日生 及び7歳6ヶ月未満で未実施の子	13:30~14:00	診療所

インフルエンザの季節です

インフルエンザは、例年1月下旬から2月上旬の冬の乾燥期に流行のピークを迎えます。り患すると高熱とともに頭痛、関節痛などの症状が現れ、気管支炎や肺炎といった重い病気を引き起こす可能性があり、予防接種をお勧めします。接種は12月末までに行うのが望ましいといわれています。



図書券が当たる 広報クイズ 138

今月の問題

- 今年度の「いかわを拓く町民のつどい」のテーマは何でしたか。また、あなたの考えもお寄せ下さい。
 - 海老沢町内の鷲谷繁さんが受章された勲章の名称は何ですか。
 - 11月16日に開催された首都圏井川ふるさと会は何回目でしたか。
13回目 14回目 15回目
- 応募の方法
ハガキに答、住所、氏名、年齢、世帯主名を記入してください。

あて先
〒018-1596 井川町北川尻字海老沢樋ノ口78-1
井川町役場 情報課 広報係
しめきり
12月18日(当日消印有効)
正解者の中から抽選で5人の方に図書券をプレゼントします。
前回の答えは、31億8,015万9千円
1,400名 でした。当選者は次の通りです。
櫻庭恵美(羽立)、天野睦美(海老沢)、
小林恵子(綱木沢)寺岡 薫(横岡) 伊藤文子(大倉)さんに図書券をお送りします。
たくさんのお応募をお待ちしています。

井川町役場 018-874-4411
URL <http://www.ikawa-town.com/>
E-mail ikawa@seagreen.ocn.ne.jp

今月のお知らせ

見て! みて!

物品供給業者追加登録申請 ~秋田県~

秋田県が発注する物品の製造の請負、買入れ、修繕や物品の売り払いについての一般競争入札及び指名競争入札に参加登録を希望する方の追加申請の受付を行います。

《対象者》

1年以上同一の事業を営んでいて平成14年4月・10月に登録をしていない者

《受付期間》

平成15年1月6日から1月31日

《受付場所》

県内に本社(店)がある場合は所管の各地方部県民室

県外に本社がある場合は県出納局管財課

《申請書の交付》

12月6日から
・県出納局管財課(TEL860-2741)
又は各地方部県民室
・ホームページ「美の国あきたネット」
<http://www.pref.akita.jp>

親子でつくる一冊の本 ~秋田県立近代美術館親子美術教室~

簡単なストーリーを手描きや貼り絵、立体的になどして親子で協力しながら一冊のしかけ絵本をつくってみましょう。

日時 15年1月12日(日)
午前10時~

会場 秋田県立近代美術館

対象 小学生とその保護者

材料費 無料

定員 30名(15組)

申し込み 12月20日

申し込み方法

ハガキに 親子で作る一冊の本 親子の氏名 郵便番号・住所 電話番号 学校名・学年 を記入して申し込んで下さい。

電話やFAXでも受け付けます。

申し込み・問い合わせ

〒013-0064

横手市赤坂字富ヶ沢62-46

秋田県立近代美術館

TEL 0182-33-8855

FAX 0182-33-8858



「年賀状素材集」掲示 ~あきたファン・ドット・コム~

秋田県では、パソコンによる年賀状作成の方のために、無料で使える年賀状素材集を秋田県総合観光サイト「あきたファン・ドット・コム」にホームページコンテンツの1つとして作成しました。かまくら・ぼんでん・犬っこ祭りやなまはげ、こまち娘など秋田の風景や正月の縁起物など20種類の素材を無料で提供しております。今年の年賀状にご利用下さい。
詳しくは
<http://www.akitafan.com>

お知らせ

秋田県農業研修センターから (大潟村)

研修のご案内

月日(曜日)	時間	研修名	研修内容	対象者
12月5日~6日	10:00~15:00	パソコン農業簿記講座シリーズ3回目	複式簿記ソリマチソフトの基本操作、申告書作成	20名
12月11日~12日	10:00~15:00	パソコン導入(ワード)第2回目	文書作成ソフト「ワード」の基本的な操作方法	20名
12月17日	10:00~16:00	農業経営基礎講座(第3回目)	営農計画の基礎及び営農計画策定演習	一般30名
12月18日~19日	10:00~15:00	パソコン導入(エクセル)第2回目	表計算ソフト「エクセル」の基本的な操作	20名

受講料:1,000円/人、パソコン研修は2,000円/一名です。
申込は「農業研修センター企画・研修班(TEL 0185-45-31111 FAX 0185-45-3116)」

野外公園(生態系公園)

大潟村の熱帯鑑賞温室(通称:ランハウス)は12月から春先まで本番です。

日に日に寒さも増し、いよいよ本格的な冬が訪れようとしている秋田にあった、生態系公園の熱帯鑑賞温室はポカポカと暖かく、まるで南国です。

温室ではこれから、ランの花の季節を迎えカトレアやバンダをはじめ、世界の珍しいランが次々と咲き始めるとともに、温室の各所に植えられたブーゲンビレアもピンク系の花を所狭しと咲かせ、外とは逆に一番の見ごろを迎えています。

また年末から正月にかけては、ブラジル原産の珍しい大型のツル植物「オレンジランペットバイン」が鮮やかなオレンジ色の花を咲かせ、冬を忘れさせてくれます。

ご家族ご友人をお誘い合わせの上、ご来園ください。

入園は無料です。



600字で
ひとこと

同級会仕掛人

渡辺 積子 (天王町住・大倉出身)



主人の遊び仲間がいる。私にとっても同級生。年2回集まってはゴルフを楽しむ気の置けない幼なじみである。酒が入り、話が弾み「小学校の同級会やるが」と出たのが三年前。夏のお盆の帰省を狙い、遠く離れていた友へのお土産とし

て、「井川町バス巡り」を入れた企画だった。むかし通った道路は土ぼこりが上がるはずもなく、子鮒釣りしかの川はきれいに整備され、いろいろな施設が建ち、あたり前の事だが、確実に変貌を遂げている。井川のほとりにあった学び舎は今もなく、二宮金次郎だけが、手にした書物のページをめくることなく立っていて、そこにはタイムスリップでもしたような空気が流れていた。卒業して四十年近い月日をポケットにでもしまいこんだように、皆で記念写真におさまった。

谷にわきでるせせらぎの……。姉と妹の助けを借りて吹き込んだテープに合わせたの、井川東小学校校歌。おぼろげな記憶の中から無理やり引っ張って来たとは言えずばらしい歌声だった。恩師を囲んで酒を酌み交わし、笑い、それはそれは懐かしく至福のときであった。翌日、遠路はるばる参加してくれた友から「ありがとー！嬉しかったよ」の電話。主人と万歳をしたい気分になったのは言うまでもない。

井川を出て大瀧村、天王町と移り住んで三十年近いが、ふるさと



八柳 唯人ちゃん (3歳3カ月)
八柳 航人ちゃん (1歳1カ月)

街道 父・正秋さん
母・真由美さん

お兄ちゃんがあ〜い好きな弟。弟にやきもちやいて、ついいじめちゃうお兄ちゃん。毎日笑い声、泣き声、叫び声でいっぱいの中。この2人の小さな宝が、大きく成長してくれる事を願っています。



井川短歌会詠草

- 長雨に収穫できず集団の転作大豆は雪にまみれる 伊藤ミヤ子
- 鳥海の紅葉のもゆる坂のぼり法体の瀑布峡に轟く 渡部 光造
- 目の前に生氣あふる姿して鳥海山立つホテルの窓に 伊藤 陽子
- 大型車の走り去りたる風圧にわが乗る自転車ぐらりと揺るる 伊藤千代美
- 山茶花の蕾綻ぶ下にて大根貯蔵の穴掘りてあり 小林 喜作
- 秋日和柿挽く背中ぼかばかと籠一杯に甘い香りす 工藤 美穂
- 開け放つ窓より入るありなしの風が紅葉を運びてくるる 小林 タミ
- つかの間の晩秋の陽さし惜しみつつ単身赴任の子の街めぐる 児玉千代子
- 桂林の大自然景観寝つかれぬ深夜の床に独り満喫す 渡部 廣治
- 清水垂矢が坂本冬美の後継くと寝難き夜の二人の会話 すぎきいさむ



菅生華恵さん(仲台) 保母さんが学校の先生になって、子ども達を笑わせたい。



中道凌平さん(今戸) スノーボードの選手になってオリンピックに出たい。



鈴木雄大さん(小今戸) 武豊のような騎手になって、強い馬に乗りたいです。



畠山陽子さん(上村) 女性初のラグビー選手になって優勝して有名になりたい。



高橋礼乃さん(新聞) 私は人形の服をデザインする仕事につきたいです。



中山洋一君(小今戸) 右
遠藤雄毅君(街道) 左
秋田南高等学校(2年) 野球部



この夏、インターハイ出場をかけた秋田大会での秋田南高校の活躍は私たちの記憶に新しいところ。中でも井川中学校出身の選手には、町民みんなが声援を送っており、期待が大きい分、落胆も大きく、選手は悔しさを一層強く感じるようになったようです。だからでしょうか、練習に厳

高校で29名を率いることになった中山君は、練習は厳しく楽しくをモットーに、「試合の時はベンチのムードを下げないように自分が声をかけるようにしている」と言います。「通うこと」と遠藤君、朝1番の電車でも朝練に間に合わないこともあり、帰りは牛島駅からの終電に遅れて、秋田駅まで自転車をこぎ、帰ることもありました。「来夏のシード権を得るためには春の大会でV4を決めたい。そのためにもこの冬、チーム一丸となつてがんばります」と決意を語ってくれました。



このコーナーは、毎週水曜日、有線放送の夜の定時放送で放送されます。ひとくち英会話のテキストとしてご利用ください。

今月はChristmasとお正月の英語を勉強しましょう。

- Merry Christmas!
- メリークリスマス
- Happy new year!
- あけましておめでとう。

この二つの表現はいつもMerry ChristmasとHappy new year. Merryとhappyを交換することができます。

- Happy Christmasだめ!
- Merry new year.....だめ!

- 12月24日.....Christmas Eve
- 12月31日.....New Year Eve

次のことは、日本とアメリカの習慣の違いです。

- Americans don't eat Christmas cake!
アメリカ人はクリスマスケーキを食べません!
- Americans don't eat fried chicken on Christmas!
アメリカ人はクリスマスの時にフライドチキンは食べません!
- Christmas is a time for families be together, New years Eve is a night to party with friends.
クリスマスは家族といっしょにいる日です。12月31日は友達や彼女といっしょにパーティとか飲みに行く日です。